



News Release

2024年7月26日

肥後銀行創立99周年 頭取挨拶

肥後銀行（頭取 笠原 慶久）は、2024年7月25日に創立99周年を迎えました。創立記念に際し、従業員に向けた頭取メッセージについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

<内 容>

1. はじめに
2. 当行の歩み
3. 新たなKFG理念体系について
4. 地域・お客様・行員の躍進について
5. 結びに

以 上

《本件に関するお問い合わせ》
九州フィナンシャルグループ 広報・IR部
担当：村山
電話 096-326-5607

うるおいある未来のために。

肥後銀行

2024年7月25日

創立記念日における頭取挨拶

1. はじめに

本日、ここに当行創立99周年の日を迎えることができる慶びを、皆さんと分かち合いたいと思います。そして本日、30年、20年、10年の永年勤続表彰を受けられた行員71名、スタッフ34名の方々の、永きに亘るご努力やご苦勞に、当行を代表して深く感謝の意を表しますとともに、皆さま方を支えてこられたご家族に対し、心から御礼を申し上げます。今後とも、心身共にお元気で活躍されることを祈念いたします。

2. 当行の歩み

まず、記念日にあたり、改めて当行の歩みを振り返ってみます。当行は大正14年、西暦1925年7月25日に、熊本銀行・飽田銀行・植木銀行の3行の合併により、肥後協同銀行として誕生し、3年後の1928年に現在の肥後銀行へ商号を変更しました。その後第二次世界大戦、高度経済成長を経て、1985年に株式を東証一部に上場しました。さらには2015年10月、鹿児島銀行と経営統合し、九州フィナンシャルグループとして、未来を先取りした一步を踏み出したのであります。

3. 新たなKFG理念体系について

今年で99周年を迎える当行は、長い歴史の中で、様々な困難を乗り越え、精一杯地元経済を支えてきました。これらは先人の役職員の方々の不断的努力の積み重ねであるとともに、皆さん一人一人が企業理念を軸に、自主・自律・自発の精神で、お客様や地域、或いは同僚のために頑張ってこられた賜物であります。

この企業理念は引き続き当行の不動の軸ではありますが、今年度、KFGグループとして新たな理念体系を制定しました。これまで、KFGグループでは、私たちの存在意義を表す「パーパス」、パーパスを実現するプロセスにおいて目指す姿として「2030年ビジョン」を制定しています。そして、今回、ビジョンを達成しパーパスを実現するうえで、KFGグループの一員である私たちに求められる価値観や行動、姿勢として、「誠実、主体性、チームKFG」からなる3つの「バリュー」を制定しました。

「誠実」とは、高い倫理観を持って行動すること、「主体性」とは、自ら考え、失敗を

恐れずに行動すること、「チームKFG」とは、志を一つに、グループの最適を考えて行動することです。

バリューとは拠り所であると同時に、皆さんに期待する行動でもあります。日常業務の中で判断に迷う際、このバリューに照らして考えてみてください。皆さんがバリューに基づき行動してはじめて、グループ全体に浸透したと言えます。こうした新たな理念体系を基軸とした現場重視のチームワーク経営を一層推進していきたいと思いますので、是非今日からバリューに基づく行動を実践していただくようお願いいたします。

4. 地域・お客様・行員の躍進について

次に、今年度より、中期経営計画「躍進」がスタートしました。基本方針は「地域価値共創グループ実現へ向けての躍進」であります。今回の中計では、先ほどのパーパス・2030年ビジョン・バリューをKFGグループ共通の基軸として、その下に「企業理念」、「経営品質」、「健康経営」の3つを当行の経営の軸としました。

これらの基軸となるものを中心に、今回の中期経営計画において、私たちが第一の目標としていくものは「地域価値の向上」即ち地域の躍進であり、「顧客価値の向上」即ちお客様の躍進と幸福を目指しています。更に同時に、「行員価値の向上」即ち行員の躍進と幸福を目指し、熊本県域内総生産増加額、個人・法人のお客さまの満足度、エンゲージメントスコア等の具体的目標を掲げています。つまり、私たちはパーパスや企業理念の実現に対し、改めて主体的に意志ある具体的数値を示し、地域やお客様、行員の躍進に尽力していくということです。ここには銀行の収益目標などはありません。地域やお客様の課題、即ち、私たちへの期待は多岐にわたりますが、全行態勢で優先課題を解決し、その結果として銀行の収益が得られる、「先義後利」の精神で中計に掲げる目標や施策に全力で取り組んでいきましょう。

5. 結びに

結びになりますが、来年2025年は、KFG創立10周年、当行創立100周年の大きな節目を迎えます。私は、「その地域にどのような地銀があるかによって、その地域の未来が変わる」と本気で考えています。現在、熊本の経済は、災害からの創造的復興の進展、TSMC熊本進出効果等により着実に回復基調にあります。次の10年間および100年間において、こうした基調を維持し、人口減少、域内需要の減少、生産性の低迷等により地域経済が縮小することがないように、新たなKFG理念体系のもと、私たちは「意志のある未来」を実現するために主体的な態度で邁進せねばなりません。

そのために、まずは中計で掲げる地域・お客様・行員の躍進に向けた目標や施策を皆で一致団結してやり遂げていきましょう。

それでは皆さんの益々のご健康をお祈りするとともに、本日の99周年をともに喜び、そして役職員一同、肥後銀行員として、九州フィナンシャルグループの一員として私たちが理想の姿とする「地域価値共創グループ」の実現に向け、これからの未来を私たちが創っていくことを誓い合ひまして、創立記念日の挨拶といたします。

以 上